

26

(火)

見えない方を見る信仰

へブライ人への手紙二一章17〜31節

信仰によって、モーセは王の怒りを恐れず、エジプトを去りました。目に見えない方を見ているようにして、揺らぐことがなかったからです。(27)

信仰の勇者たちの特徴の一つは、「目に見えない方を見ているようにして」生きることです。イスラエルの民をエジプトから導き出そうとしたモーセの前にエジプト王ファラオが立ちふさがりました。モーセは臆することなく王の前に立ち続けました。彼が目に見えるものに目を留めたのではなく、見えないお方に目を注ぎ続けたからです。自分をここに遣わしておられる天地を造られた神を見ていたのです。世の人は目に見えるところばかりを見つめます。けれども、見えないものを見るのが信仰です。見えるところは困難に満ち、望みは絶たれたように思える時があります。しかし、「信仰によって」生きる者たちは、全てを支配しておられる神に目を注ぎます。そのとき、見えない世界こそ、確かな現実であることが見えて来るのです。見えないお方を仰ぎ見る信仰に生きたいと願います。